

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第12号
(令和5年8月)
文責 西澤 庄藏



暑中お見舞い申し上げます

連日、暑い日が続いていますが、保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今回は、夏休み前半を振り返り、生徒の活躍の場から、2つお届けいたします。

県中総体各種競技がありました。健闘むなしく勝負の厳しさを体感しました。

7/22(土)・7/23(日)長崎県中学校総合体育大会各種競技が県内各地で開催され、本校生徒も剣道【女子】競技・ソフトテニス【男女】競技・柔道【男子】競技・陸上【男女】競技に出場しました。私は(教頭先生と分けて応援し、全ての競技を観戦できない残念な思いも抱きつつ)剣道競技、柔道競技会場に足を運び、応援しました。

剣道競技女子団体の部で決勝リーグに進出してベスト6入りする活躍がありました。ただ、全体的にどの競技も厳しい結果でした。

試合後に人目もはばからず涙する場面を見るにつけ(一生懸命練習に励んだことを察して)感情移入されると同時に、ほんの一瞬が勝敗を分ける厳しさも痛感しました。(勝敗を抜きにすれば)選手は試合に臨む態度が立派で拍手を送りたい心境でした。県内の精鋭が集う場を体感でき、大きな「壁」を感じつつも大いなる学びの場ともなった有意義なひとときとなりました。



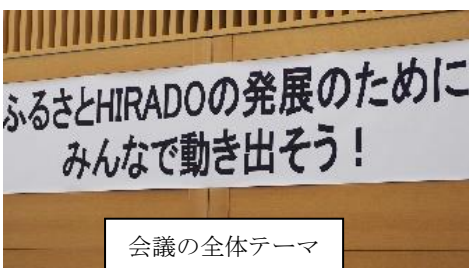
柔道競技会場、剣道競技会場とも屋内競技ならではの静寂な中にも独特の緊張感が漂っていました。

「ふるさとプロジェクト会議」と称した市長と共に語り合う場がありました。

8/3(木)市内の未来創造館にて行われた「ふるさとプロジェクト会議」(旧子ども議会)を参観しました。市内中学校の生徒会役員代表が一堂に会し、従来子ども議会とは違い、座談会形式で進行する交流会でした。本校からも木村さん(2-1)、松森さん(2-2)が参加しました。(この会議に先立ち行われた生徒会交流会には大石さん(2-1)、村井さん(2-1)も参加しました。)

休憩時間、ちらっと見えた冊子に想定問答が書き込まれていて、この会議に懸ける並々ならぬ思いを汲み取ることができ、参加生徒の熱意ある行動にうれしく思いました。空き家対策について意見を述べ、「よい所ついているね」と市長直々に誉め言葉をいただく場面もあり、達成感を味わうことができました。

「空き家の活用について」「美しい自然環境を守る方策について」をテーマに、大人顔負けの意見も飛び交い、その思慮深さに感心しきりでした。(平戸市の将来の担い手である)本校生徒会代表も含めて市内の子どもたちのひたむきな態度に、将来を憂慮する思いが少し払拭されたひとときとでもありました。



会議の全体テーマ



(緊張感が解放された)最後の記念撮影から